

## 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社  
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	66,969	5.7	4,000	92.8	4,306	91.6	2,337	100.9
30年3月期第1四半期	63,368	21.1	2,074	27.3	2,247	12.4	1,163	7.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,406百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 171百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	11.71	
30年3月期第1四半期	5.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	279,490	171,320	50.4
30年3月期	284,281	176,217	51.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 140,971百万円 30年3月期 145,111百万円

平成31年3月期の期首より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、平成30年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				16.00	16.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	4.8	7,500	22.4	7,800	25.8	4,200	21.8	21.04
通期	282,000	5.2	17,300	10.8	17,900	11.3	9,600	13.0	48.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	201,699,743 株	30年3月期	201,699,743 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	2,069,264 株	30年3月期	2,069,224 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	199,630,489 株	30年3月期1Q	201,224,001 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

## ○ 第1四半期決算短信補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続し、個人消費にも持ち直しがみられますが、米国発の貿易摩擦の激化や原油・原材料価格の上昇などもあり、依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸ばさせることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高66,969百万円（前年同期比105.7%）、売上総利益26,582百万円（前年同期比107.8%）、営業利益4,000百万円（前年同期比192.8%）、経常利益4,306百万円（前年同期比191.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,337百万円（前年同期比200.9%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

## [宝酒造]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎や清酒は減少いたしました。ソフトアルコール飲料は、引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移し増加いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料では、料理清酒は好調に推移しましたが、みりんが減少しましたので減少いたしました。

原料用アルコール等では、工業用アルコールなどが好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、36,772百万円（前年同期比102.1%）となりました。売上原価は、22,161百万円（前年同期比102.3%）となりましたので、売上総利益は、14,610百万円（前年同期比101.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費などの減少により13,759百万円（前年同期比96.8%）となりましたので、営業利益は、851百万円（前年同期比562.9%）となりました。

## [宝酒造インターナショナルグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、FOODEX S. A. S.（仏国）やMutual Trading Co., Inc.（米国）などの海外日本食材卸事業が好調に推移しましたので、18,270百万円（前年同期比111.1%）となりました。売上原価は、12,721百万円（前年同期比108.9%）となりましたので、売上総利益は、5,549百万円（前年同期比116.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や管理費などが増加しましたので4,399百万円（前年同期比115.5%）となりましたので、営業利益は、1,150百万円（前年同期比119.8%）となりました。

## [タカラバイオグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が増加したことに加え、日本におけるNY-ESO-1・siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料を受領したことにより、8,847百万円（前年同期比139.2%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が上昇し、3,491百万円（前年同期比155.5%）となりましたが、売上総利益は、5,355百万円（前年同期比130.3%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などが減少し、3,811百万円（前年同期比99.1%）となり、営業利益は、1,544百万円（前年同期比587.8%）となりました。

## [その他]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度中にタカラ長運株式会社の株式を売却したことに伴い、同社を連結の範囲から除外した影響により、8,137百万円（前年同期比84.5%）となりました。売上原価は、6,834百万円（前年同期比85.4%）となりましたので、売上総利益は、1,302百万円（前年同期比79.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、793百万円（前年同期比90.1%）となりましたので、営業利益は509百万円（前年同期比67.6%）となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	14,089	13,899	98.7
清酒	4,214	4,153	98.6
ソフトアルコール飲料	8,469	9,419	111.2
その他酒類	1,641	1,654	100.8
酒類計	28,415	29,127	102.5
本みりん	3,359	3,283	97.7
その他調味料	2,306	2,330	101.0
調味料計	5,666	5,614	99.1
原料用アルコール等	1,947	2,030	104.3
計	36,029	36,772	102.1
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	2,340	2,384	101.8
海外日本食材卸	14,516	16,341	112.6
その他	-	24	-
グループ内連結消去	△406	△478	-
計	16,450	18,270	111.1
タカラバイオグループ	6,355	8,847	139.2
報告セグメント計	58,835	63,890	108.6
その他	9,634	8,137	84.5
セグメント計	68,470	72,028	105.2
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△5,101	△5,058	-
合計	63,368	66,969	105.7

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は169,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,781百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,024百万円、有価証券が3,517百万円それぞれ減少し、受取手形及び売掛金が926百万円、商品及び製品が759百万円、流動資産その他が1,168百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は110,203百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,010百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が886百万円、無形固定資産が1,514百万円、投資有価証券が774百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、279,490百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,791百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は53,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ644百万円増加いたしました。これは主に、未払酒税が1,963百万円、賞与引当金が1,059百万円それぞれ増加し、未払費用が859百万円、未払法人税等が1,632百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は54,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ539百万円減少いたしました。これは主に、固定負債その他が556百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、108,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は171,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,896百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が856百万円、為替換算調整勘定が3,041百万円、非支配株主持分が756百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.4%（前連結会計年度末は50.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結業績が、ほぼ計画通りに推移しておりますので、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,754	46,729
受取手形及び売掛金	57,889	58,815
有価証券	19,721	16,204
商品及び製品	37,979	38,738
仕掛品	997	1,254
原材料及び貯蔵品	3,932	3,562
その他	3,122	4,290
貸倒引当金	△329	△309
流動資産合計	171,067	169,286
固定資産		
有形固定資産	57,485	56,599
無形固定資産		
のれん	13,765	12,866
その他	8,504	7,888
無形固定資産合計	22,269	20,754
投資その他の資産		
投資有価証券	28,607	27,833
その他	4,928	5,088
貸倒引当金	△77	△73
投資その他の資産合計	33,458	32,849
固定資産合計	113,213	110,203
資産合計	284,281	279,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,544	16,187
短期借入金	5,221	4,905
未払酒税	9,278	11,241
未払費用	5,639	4,780
未払法人税等	3,126	1,494
賞与引当金	2,286	3,346
その他の引当金	2,078	2,288
その他	8,535	9,111
流動負債合計	52,712	53,357
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	10,620	10,568
退職給付に係る負債	8,759	8,814
長期預り金	5,312	5,326
その他	5,659	5,103
固定負債合計	55,352	54,812
負債合計	108,064	108,169

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,219	2,257
利益剰余金	117,571	116,714
自己株式	△1,367	△1,367
株主資本合計	131,649	130,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,520	11,011
繰延ヘッジ損益	△120	112
為替換算調整勘定	2,645	△396
退職給付に係る調整累計額	△583	△587
その他の包括利益累計額合計	13,461	10,140
非支配株主持分	31,106	30,349
純資産合計	176,217	171,320
負債純資産合計	284,281	279,490

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	63,368	66,969
売上原価	38,705	40,387
売上総利益	24,662	26,582
販売費及び一般管理費	22,588	22,582
営業利益	2,074	4,000
営業外収益		
受取配当金	268	287
その他	237	180
営業外収益合計	505	467
営業外費用		
支払利息	173	85
社債発行費	112	-
為替差損	-	34
その他	47	42
営業外費用合計	333	161
経常利益	2,247	4,306
特別利益		
固定資産売却益	6	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	33	18
特別損失合計	33	18
税金等調整前四半期純利益	2,220	4,288
法人税、住民税及び事業税	1,364	1,871
法人税等調整額	△442	△496
法人税等合計	922	1,375
四半期純利益	1,297	2,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	134	575
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,163	2,337



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	1,297	2,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	931	△509
繰延ヘッジ損益	122	226
為替換算調整勘定	△2,195	△4,034
退職給付に係る調整額	15	△2
その他の包括利益合計	△1,126	△4,319
四半期包括利益	171	△1,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508	△983
非支配株主に係る四半期包括利益	△337	△423

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,018	16,354	6,175	58,547	4,820	63,368	0	63,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	96	180	287	4,814	5,101	△5,101	—
計	36,029	16,450	6,355	58,835	9,634	68,470	△5,101	63,368
セグメント利益	151	960	262	1,374	753	2,128	△53	2,074

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去24百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△77百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. がWaferGen Bio-systems, Inc. およびRubicon Genomics, Inc. の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては7,709百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,614	18,205	8,743	63,563	3,405	66,969	0	66,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	64	103	326	4,731	5,058	△5,058	-
計	36,772	18,270	8,847	63,890	8,137	72,028	△5,058	66,969
セグメント利益	851	1,150	1,544	3,546	509	4,055	△55	4,000

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去12百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△67百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。